



モスクワ日本人学校

しらかば

第1号

モスクワ日本人学校
一人一人が輝く学校
笑顔あふれる学校

児童生徒数 129名

(E-mail)

school@mosnichi.com

(URL)

<http://www.mosnichi.com>

そったくどうじ 啐啄同時

新入生24名(小学部15、中学部9)を迎え、全校129名の子どもたちとともに2018年度がスタートしました。みんなよい表情です。心に期すものがあるのでしよう。背筋を伸ばした姿から進級の喜びと新しい学年への期待感が伝わってきます。

「啐啄同時」という言葉があります。「啐」は、鶏の卵がかえる時に雛が殻をつつく音、「啄」は、母鳥が殻をかみ破ることを意味します。雛が殻をつつき、それに合わせて母鳥が殻をかみ破ろうとする。その行為が同時に行われることで、はじめて新しい命を誕生させることができるということなのです。

このことは、学校教育にも当てはまります。子どもたちの「背伸びする思い」(啐)に適切な働きかけで「応えていく営み」(啄)は、学校の教育活動そのものです。「啐啄同時」の心

を大切にして、一つ一つの教育活動を丁寧積み重ねていくことは、学校の務めです。

また、学校と家庭等との関係にも同じことが言えます。連絡を密に取り合い、手を携えて取り組むことで、はじめて学校文化や校風を創っていくことが可能になるからです。皆様方とともに、歴史と伝統あるモスクワ日本人学校の新たな一ページを綴っていきたく強く思います。

春の暖かい日差しを受け、校舎が明るく輝いています。そんな学舎には、子どもたちの笑顔が一番似合います。子どもたちの「背伸びする思い」に込め、一人一人が輝く学校、笑顔あふれる学校づくりに邁進しよう、職員一同、気持ちを新たにしています。開校51年目の挑戦が始まりました。皆様方の変わらないご支援をお願いいたします。

校長 石川 賢

気持ちを新たに

入学式(4月13日)